

令和2年度 第6回幼稚園等初任者研修報告

1月22日(金)、静岡県総合教育センターを会場に、本年度最後の初任者研修会が開催されました。

今回の研修は、「講話やグループワークを通して、1年間の取組みを振り返る中で成果や課題を明確にし、次年度の保育に意欲をもつこと」を目標に行われました。



【講話「初任1年目を終える皆さんへ」】



幼児教育推進室長

初めに、「今年度の私」と「来年度の私」を、それぞれ漢字一文字で表すことを通し、現在の保育に関わる思いを率直に出し合いました。

その後、幼児教育センターが実施した調査結果等から静岡県の幼児教育の状況を学びました。さらに、初任者が回答したアンケートの中から、保育者を志望した理由や仕事への充実感、今の悩みなどの集計結果が示され、1年を終えようとする今の自分を振り返り、次年度への意欲を高めました。

【グループワーク「保育実践を振り返って」】

小グループに分かれ、年度初めに設定した「自己研修テーマ」を達成するために、今まで自分が取り組んできたことを振り返り、成果と課題について語りました。さらに、互いに各自の取組みを伝え合い、情報共有したり、次年度の実践へつなげるために一緒に考えたりしました。



【先輩講話「先輩保育者から学ぶ」】



焼津市立静浜幼稚園 藪内 央子 教諭

初任者にとって、一番身近な存在である2年目の先輩から話を伺いました。

初任者として1年間経験したことやそこから感じたこと、そして、それらを活かし2年目に取り組んでいることについて、子供の変容と教師の援助の具体を示しながら話していただきました。保育実践の手応えを感じながらも真摯に学び続けている藪内先生の姿は、初任者にとって大変参考となるものでした。

【グループワーク「2年目に向かって ～1年目から2年目へつなぐ～」】

先輩講話から学んだことを基に、自分の2年目をイメージしたり不安に感じたりしたことを伝え合い、共有しました。

さらに、自分の2年目を具体的にイメージし整理してまとめることで、今後の実践へとつなげる意欲を高めました。



【講話「2年目に向かって～メッセージ～」】



幼児教育支援員

幼児教育支援員から、これまでの幼稚園や認定こども園の経験を基に、保育の専門性を高めるための園内研修について話がありました。「一人一人によって語られる実践の言葉に参加者が耳を傾け、子供の思いや保育者の思いなどについて率直に語り合うことが大切です。公開保育や保育参観の中で、対話を通し学び合うことに心掛けていってください。」と2年目に向けてのメッセージがありました。

1年を振り返って (1年目の私の成長)

- ・ 初めのころは、どのような環境を考えればよいのか分からず、同じ学年の担任の先生と同じ環境をまねしていたが、徐々に仕事に慣れるにつれ、子供の実態に応じた環境を考え設定するようになってきた。
- ・ 自分のことで精いっぱい子供の思いに寄り添うことができないことがあったが、余裕を持てるようになったことで子供との関わりが増え、それまで気付かなかったことに気付けるようになった。
- ・ 睡眠時間を削って仕事をしていたが、寝る時刻を意識するようになった。
- ・ 少しずつではあるが、自分に自信をもって保育を行えるようになった。この仕事が楽しい、自分に合っていると思えるようになった。
- ・ 子供との関わり方や援助の仕方、環境構成などの引き出しが増えた。

(2年目の私「こんな教師を目指したい」)

- ・ 私の園では毎年初任者が入ってきており、自分が教えてあげることがあれば、積極的に声掛けしてサポートできるようにしたい。
- ・ 自分を追い込みすぎない。一人で抱えず周りの先生に頼ることも大事だと心掛ける。
- ・ 子供と一緒に遊びを展開できる教師になりたい。
- ・ 1年目にも目標にしていたが、子供たちから「先生大好き！」といわれる保育教諭になりたい。そのためには、元気で明るく笑顔あふれる人を目指す必要がある。また、子供の気持ちに寄り添い、共感し、きちんと向き合う姿勢を大切にしたい。
- ・ 子供のありのままを受け止め、そのらしさを大切にし、肯定的な関わりができる教師になっていきたい。
- ・ 組織の一員として、積極的に行事や研修に参加し、保育技術を高めたい。

